

令和 3 年度 過年度卒業生（医学部）へのアンケート調査結果について

1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒後 5 年、10 年の学生（薬学部は 5 年のみ）を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 医学部卒業生

第 60 期生【平成 23 年 3 月卒業】 84 名（卒後 10 年）

第 65 期生【平成 28 年 3 月卒業】 113 名（卒後 5 年）

調査期間 令和 3 年 8 月 6 日（金）～10 月 24 日（日）

実施方法 インターネット（Google Form）を利用した Web アンケート

- 質問内容
- ① 氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（〇期生）
 - ② 現在の状況、勤労状況、勤務形態
 - ③ 臨床研修を受けた都道府県、専門研修（後期研修）の選択科または選択予定科※医学部のみ
 - ④ 専門医の取得状況 ※医学部のみ
 - ⑤ 学位の取得状況、満足度 ※医学部のみ
 - ⑥ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価
 - ⑦ 岩手医科大学での学びのキャリア選択への貢献度
 - ⑧ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度
 - ⑨ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度
 - ⑩ 岩手医科大学への満足度
 - ⑪ その他

3. 結果

【回収率】

医学部 第 60 期生 22.8%（18/79 人（84 人）） 第 65 期生 14.7%（15/102 人（113 人））

詳細は別紙の通り。

4. 総括

・設問 2 勤労状況について、過去の調査結果と同様、勤務先として大学病院に次いで公的医療機関が多く、地域医療への貢献が伺える。

・卒後 10 年を経過した卒業生は 83%以上の方が専門医を取得しており、キャリア形成が進行していることが伺える。

・学位の取得率は、60 期生（卒後 10 年）で 72%となっており、昨年の 57、58 期生よりも高い取得率となっている。一方、65 期生（卒後 5 年）では 13%となっており、昨年の 63、64 期生より取得率が低下している。満足度はい

れも高い。

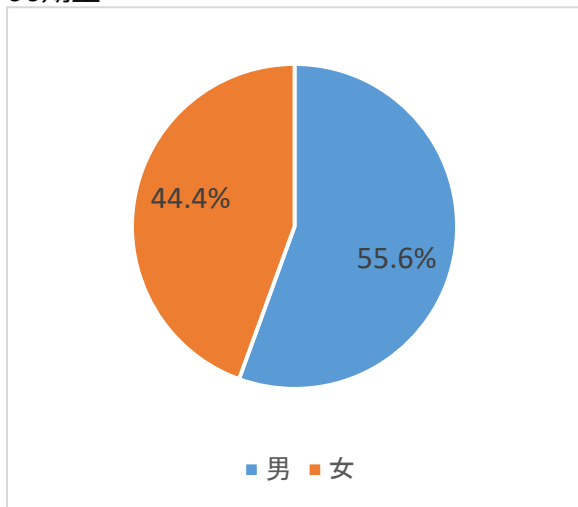
・設問 13 学修成果の達成では、60 期生、65 期生のいずれも「医療倫理」「診療技術」の達成度が比較的高い。65 期生では「コミュニケーションとチーム医療」の達成度が最も高く、多職種連携教育の成果と考えられる。一方で、「医療安全」と「社会における医療の実践」はいずれも低く、過去の結果と同じ傾向になった。

・設問 14 岩手医科大学での学びのキャリア選択への寄与について、65 期生では 80%程度が役に立ったと回答しているが、60 期生では 55%程度に留まっている。また、カリキュラムへの満足度は、60 期生に比べて 65 期生の方が高評価であった。地域医療への貢献度はいずれも肯定的に捉えている割合が高い。

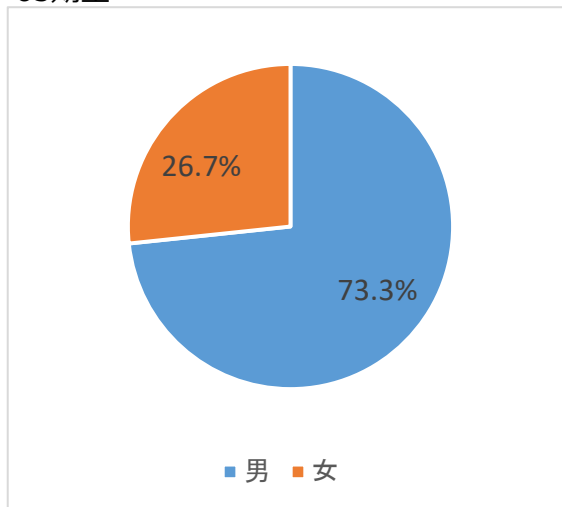
・設問 17 本学を卒業してよかったかという問いに対しては、65 期生の方が「良かった」と回答した割合が高く、85%以上となっていた。

医学部

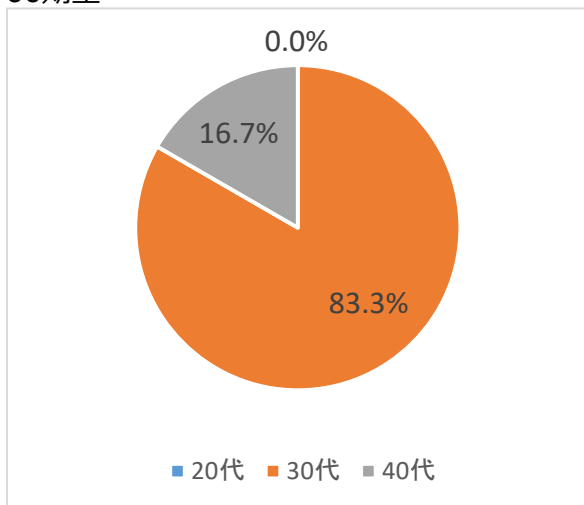
性別
60期生



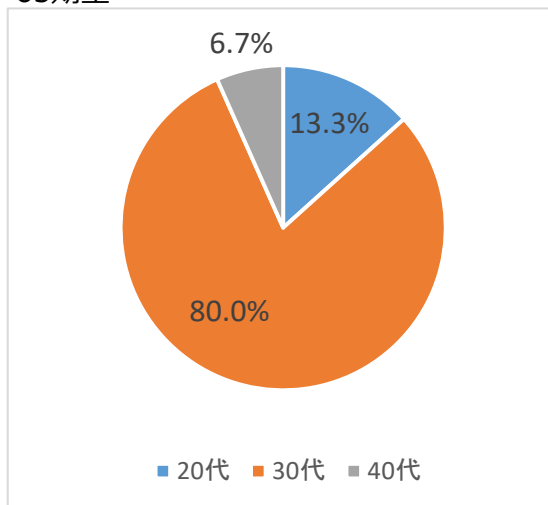
65期生



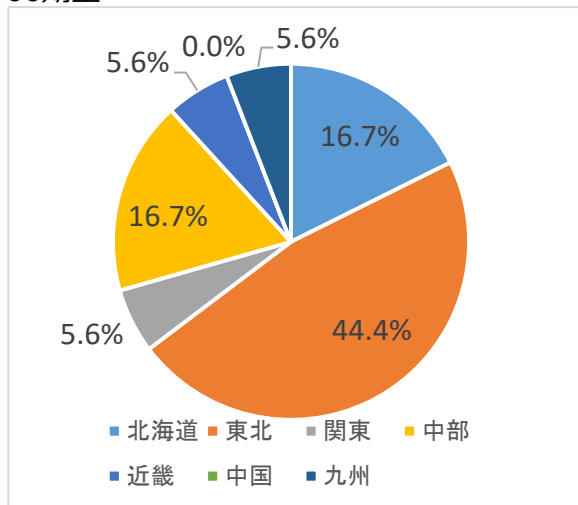
年齢
60期生



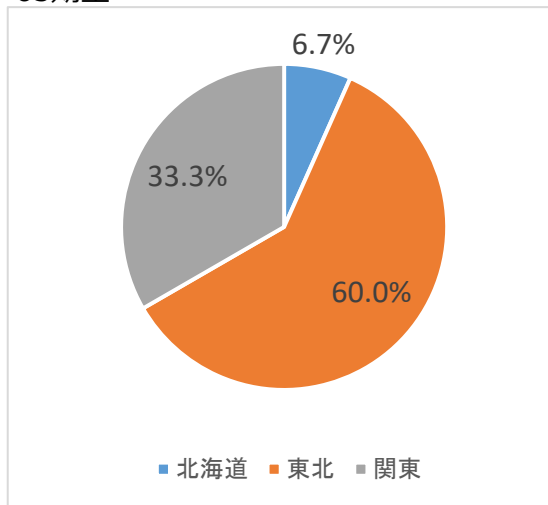
65期生



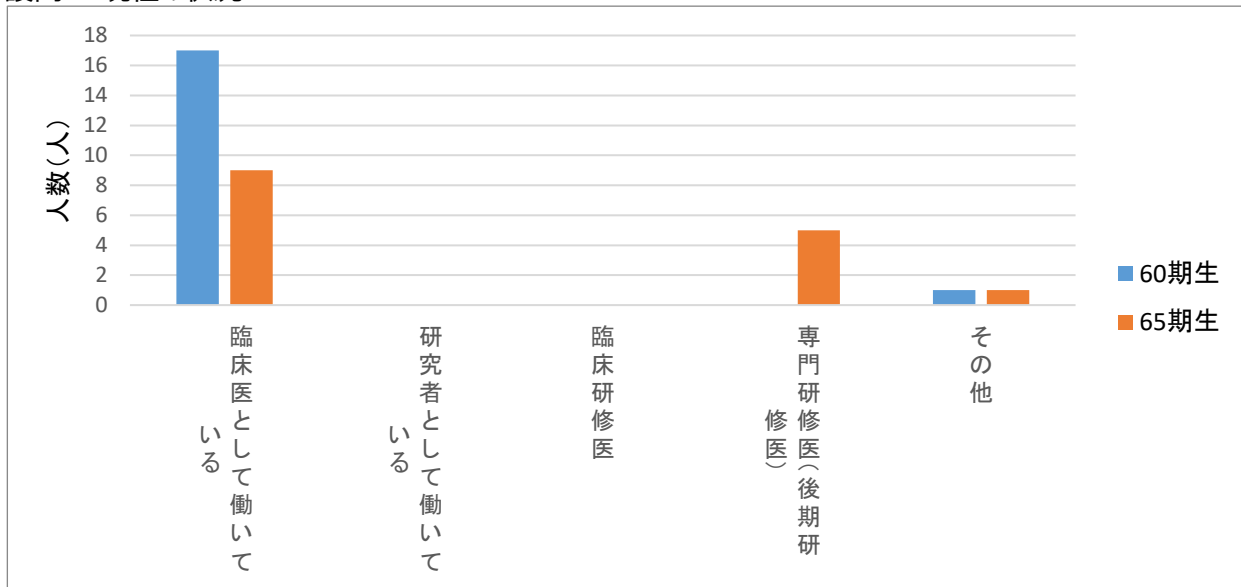
住まい
60期生



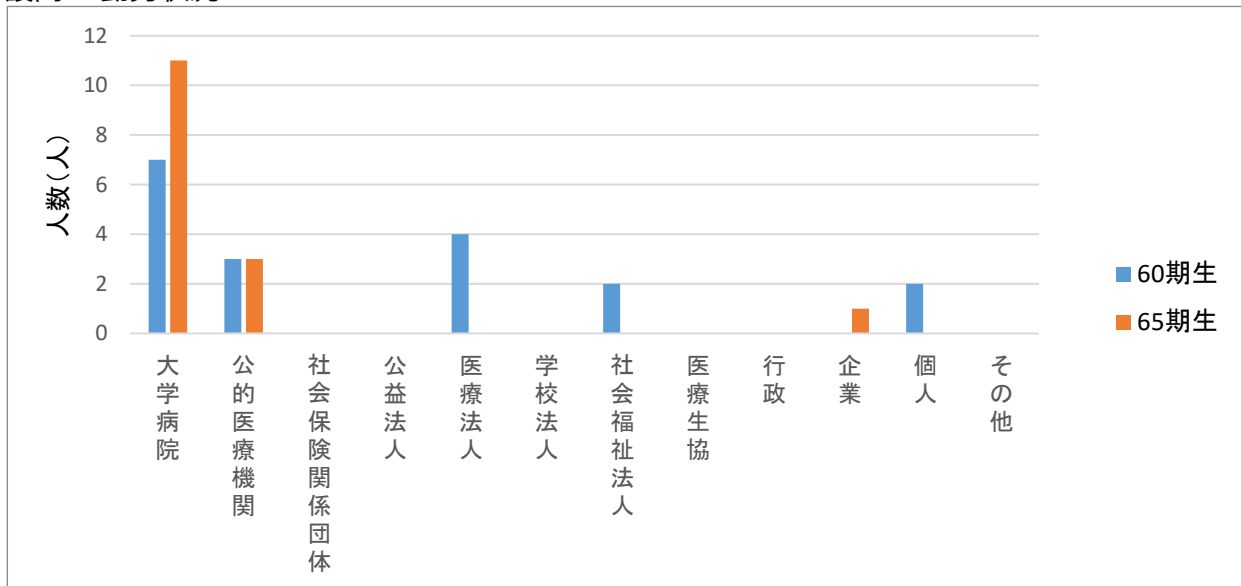
65期生



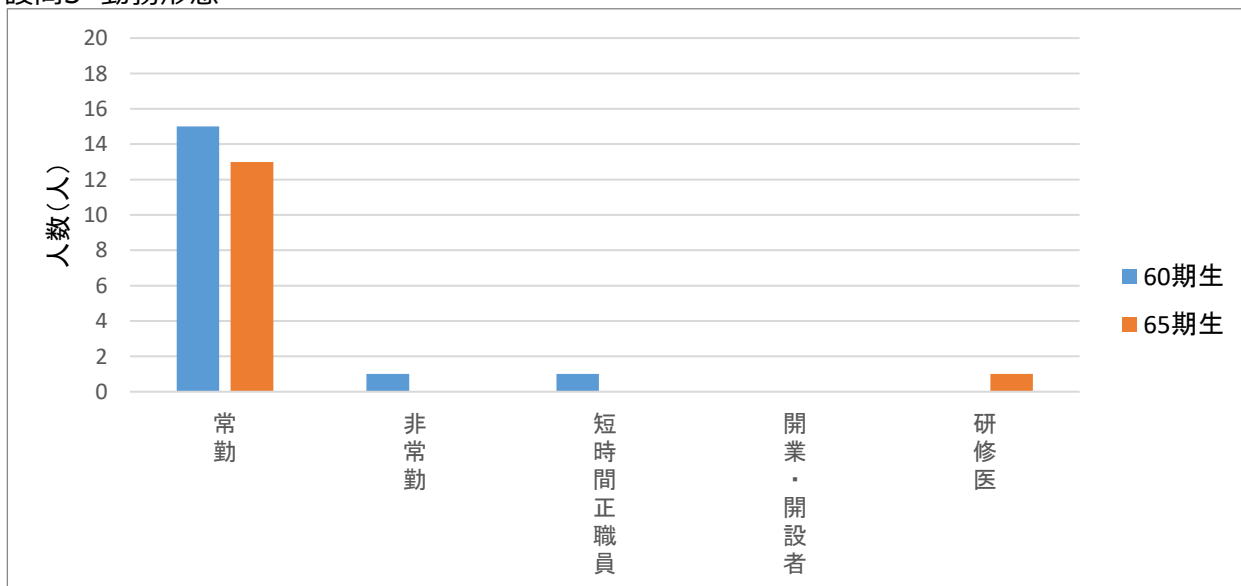
設問1 現在の状況



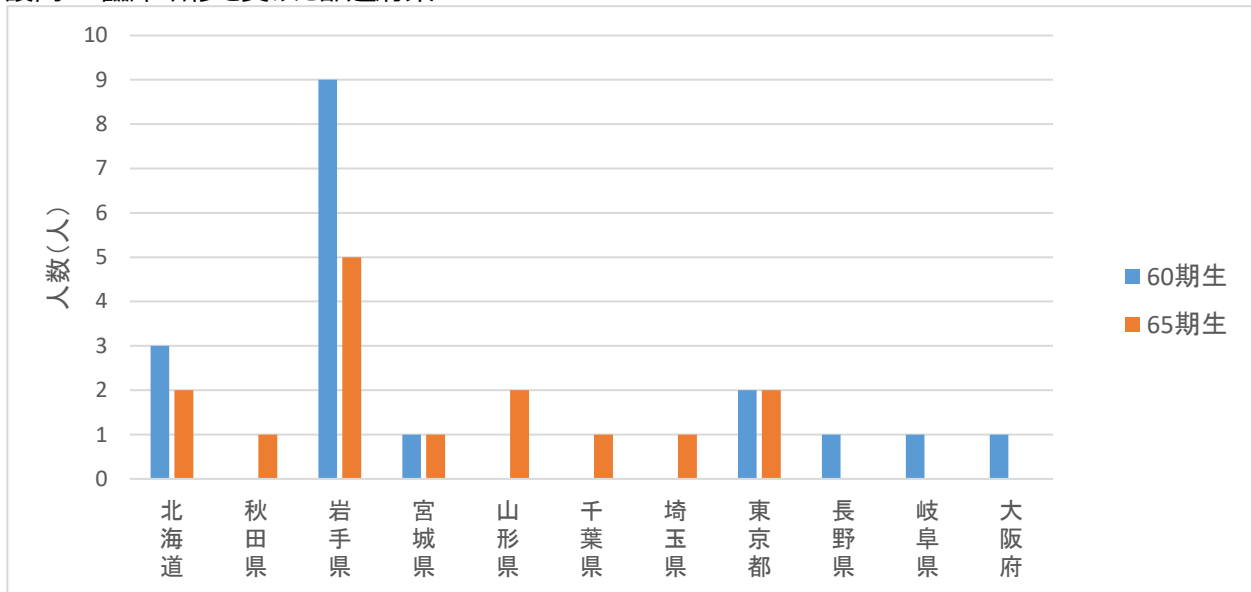
設問2 勤労状況



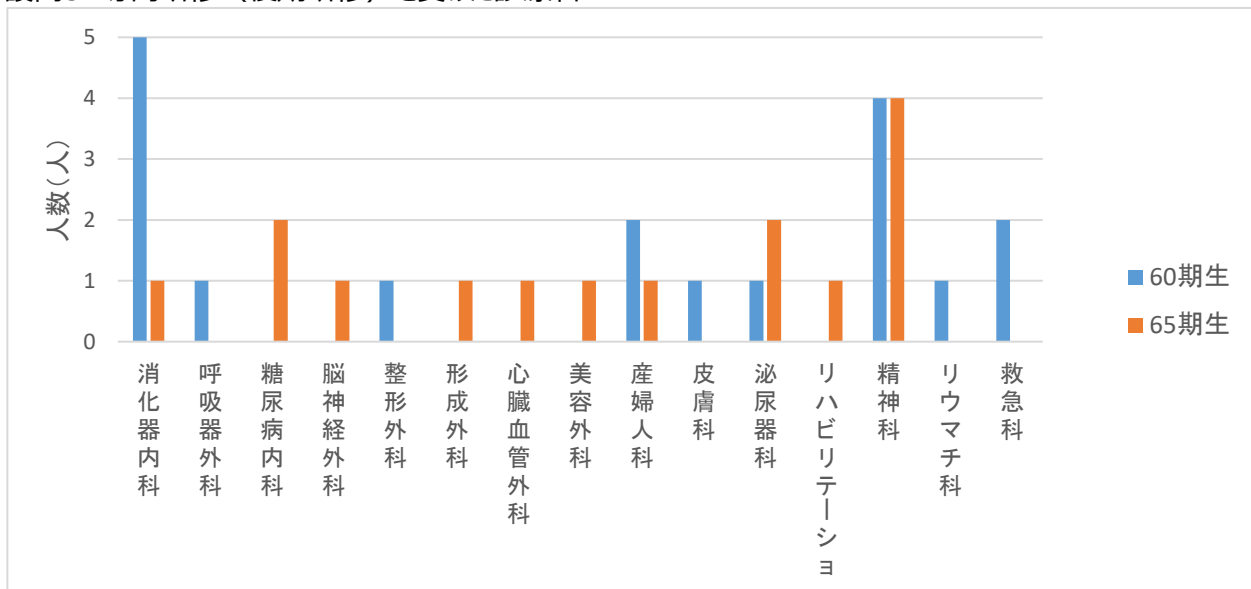
設問3 勤務形態



設問4 臨床研修を受けた都道府県

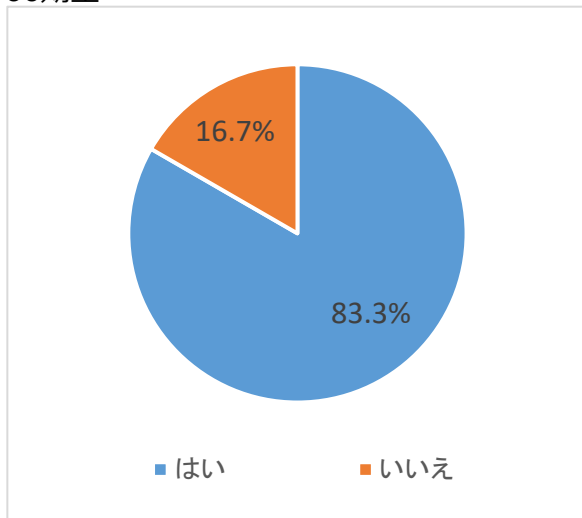


設問5 専門研修（後期研修）を受けた診療科

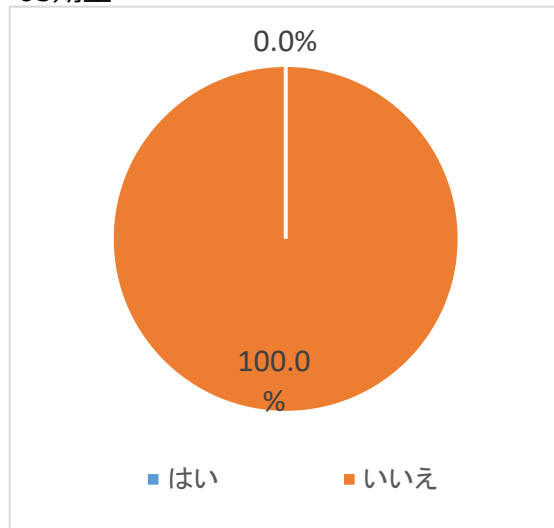


設問6 専門医を取得していますか。

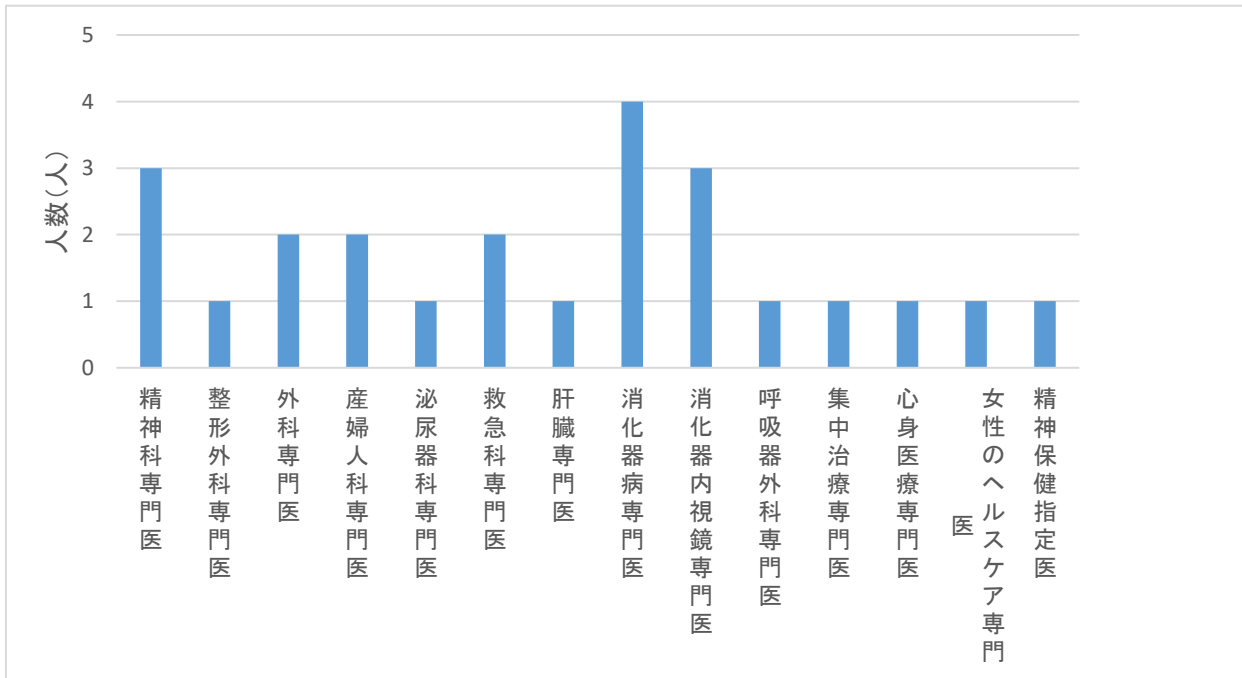
60期生



65期生

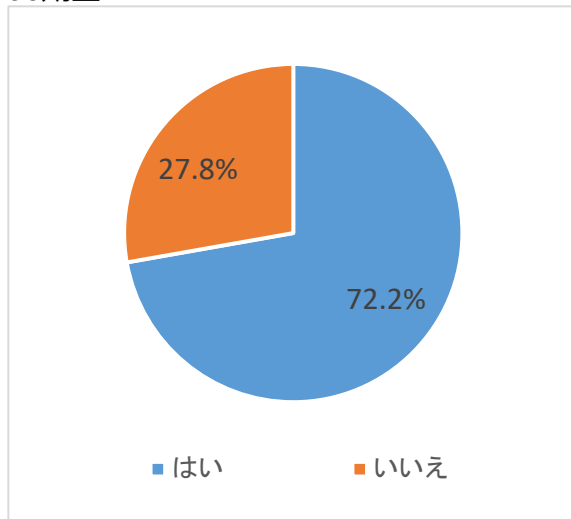


設問7 取得専門医

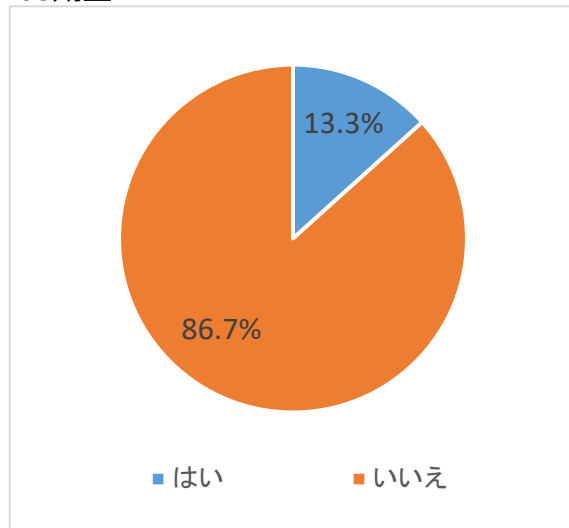


設問9 学位取得の有無

60期生

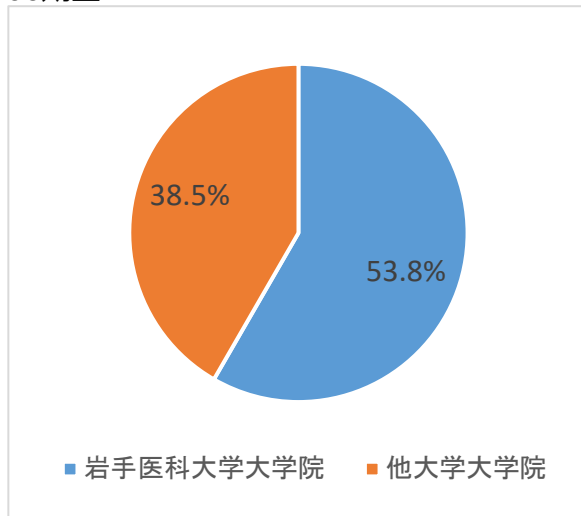


65期生



設問10 学位を取得した大学・講座

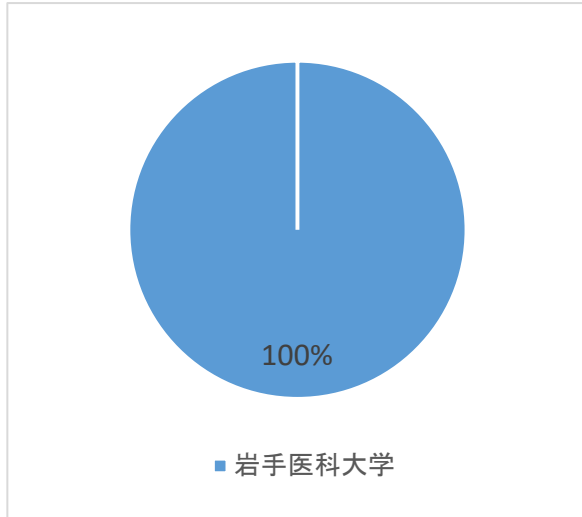
60期生



大学名	講座名	取得数
岩手医科大学	消化器内科肝臓分野	1
岩手医科大学	消化器内科消化管分野	2
岩手医科大学	救急医学講座	1
岩手医科大学	腫瘍生物学講座	2
岩手医科大学	神経科学研究部門	1
東北大学	救急医学講座	1
順天堂大学	呼吸器外科学講座	1
東邦大学	心身医学講座	1
北海道大学	腎泌尿器外科	1
北海道大学		1

設問10 学位を取得した大学・講座（続き）

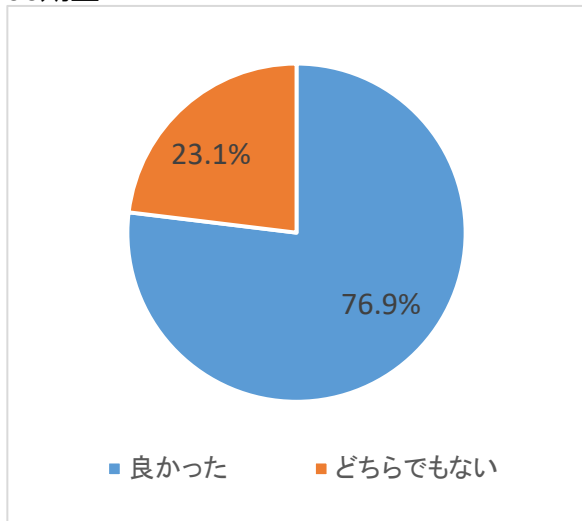
65期生



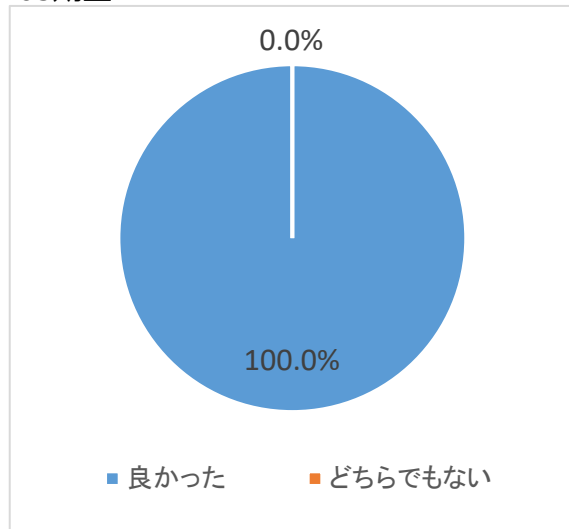
大学名	講座名	取得数
岩手医科大学	脳神経外科学講座	1
岩手医科大学	泌尿器科学講座	1

設問11 学位をお持ちの方にお尋ねします。学位を取得して良かったですか。

60期生

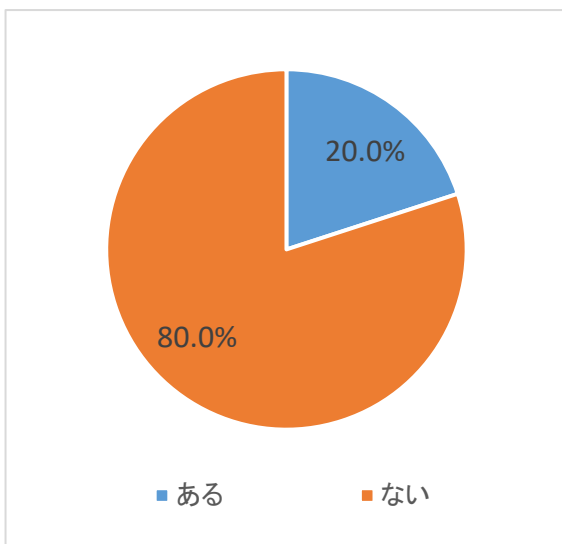


65期生

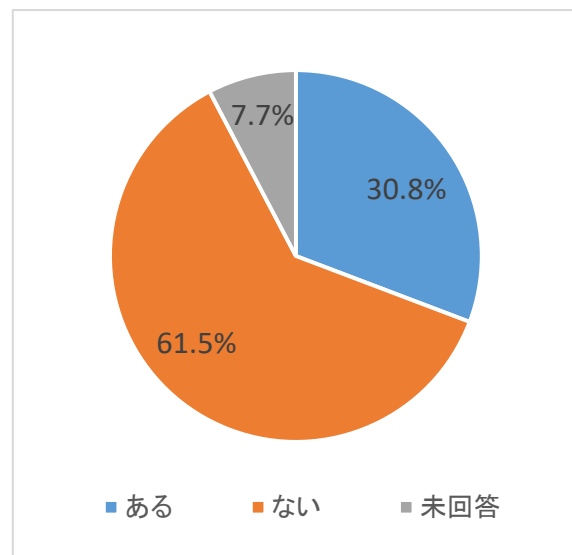


設問12 学位をお持ちで無い場合、将来取得予定はありますか。

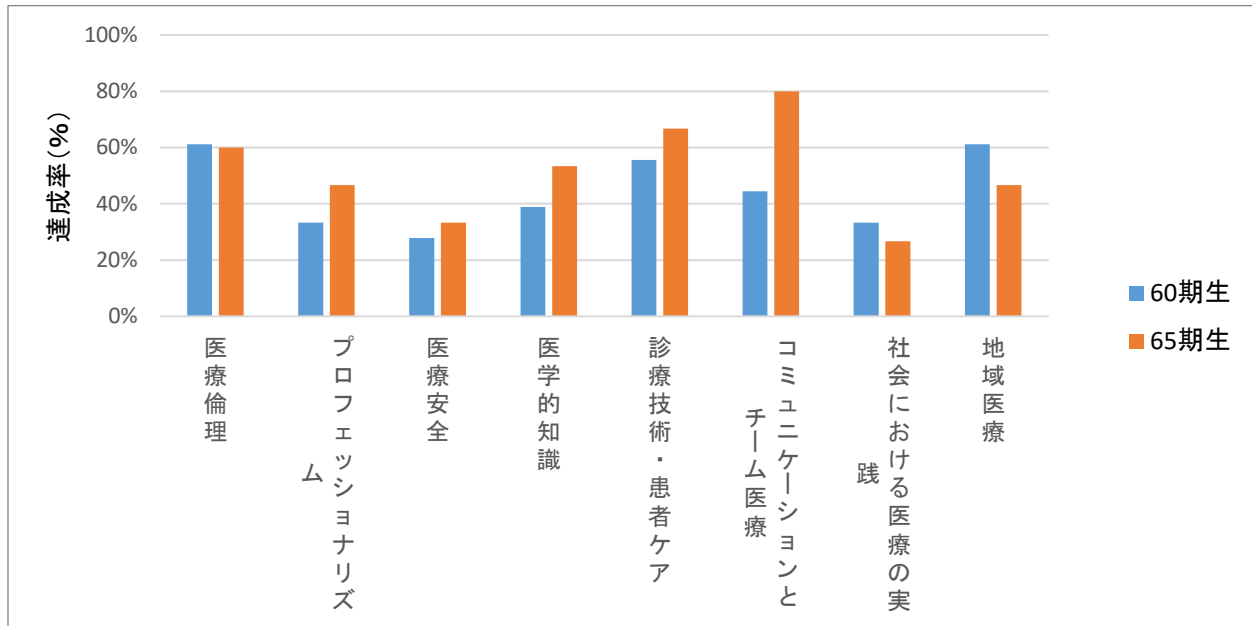
60期生



65期生

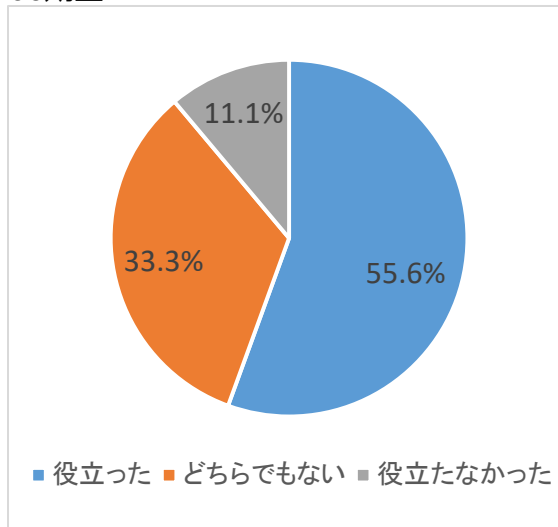


設問13 学修成果の達成について

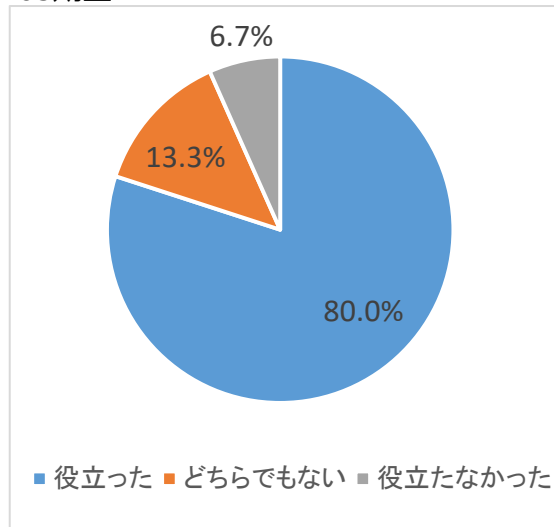


設問14 岩手医科大学で学んだことはあなたのキャリアの選択（専攻）に役立ちましたか。

60期生



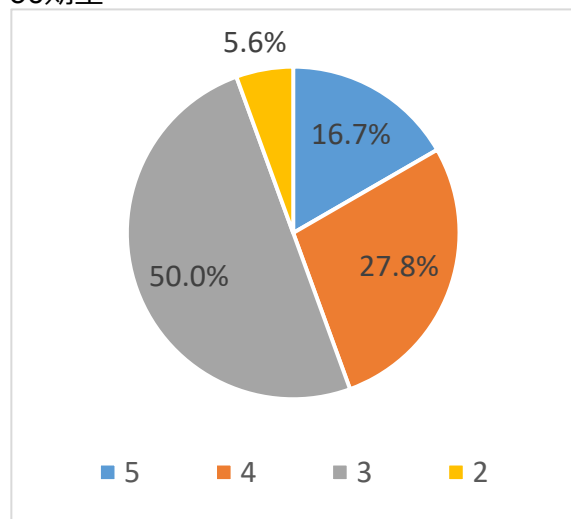
65期生



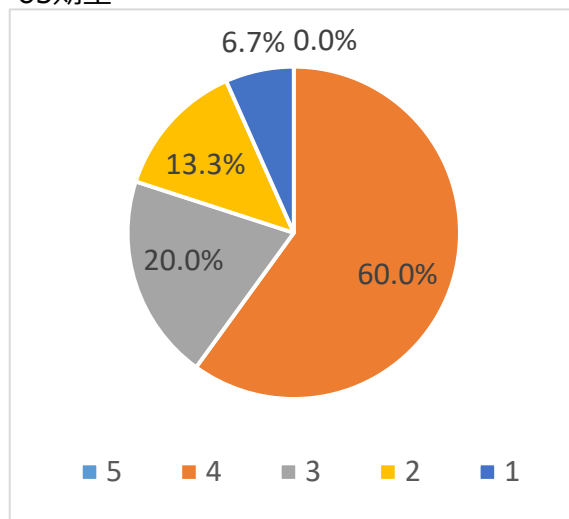
設問15 カリキュラム満足度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

60期生



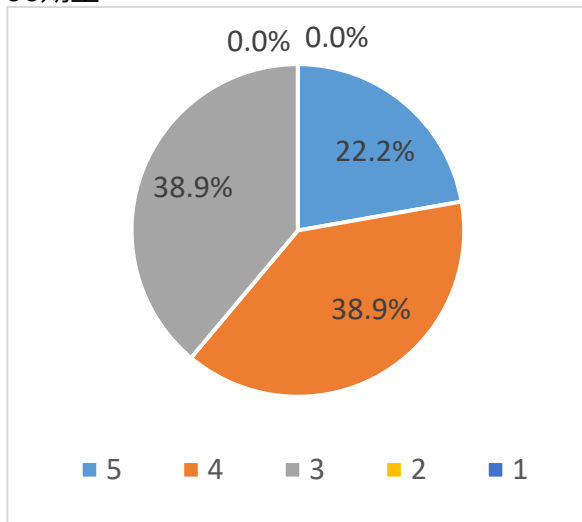
65期生



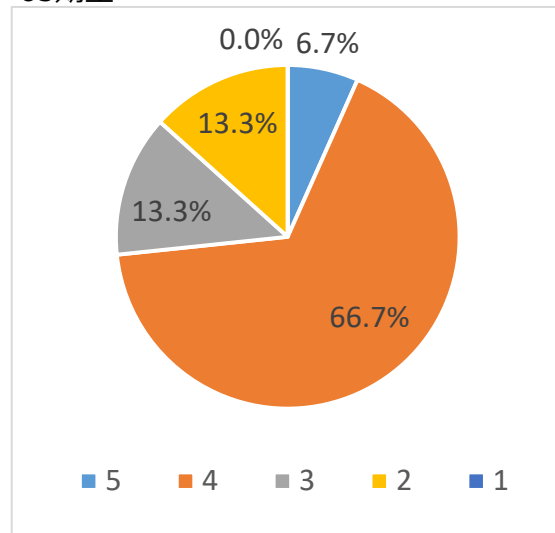
設問16 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。

5段階評価 (評価5:高評価 評価1:低評価)

60期生

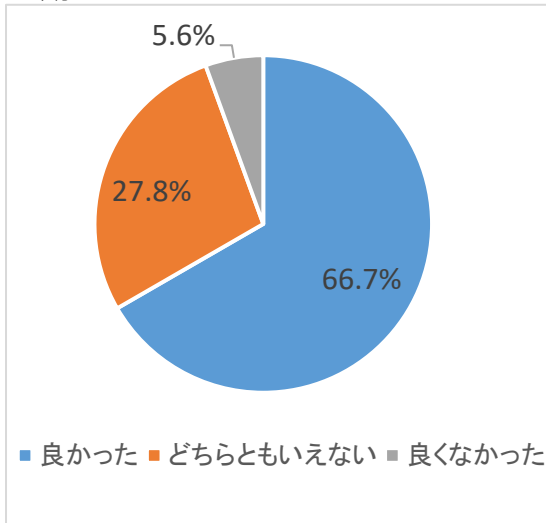


65期生

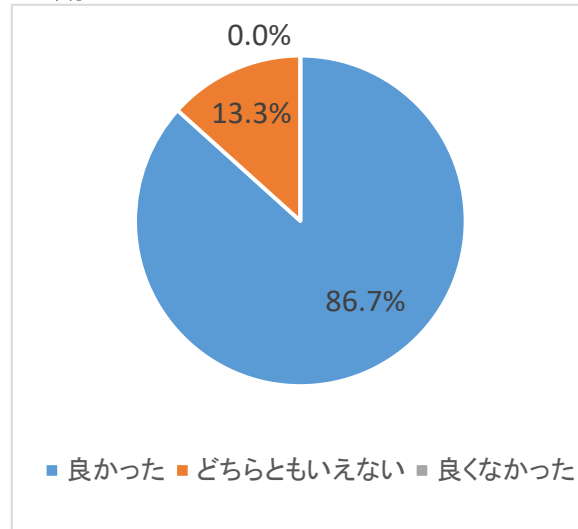


設問17 岩手医科大学を卒業して良かったですか。

60期生

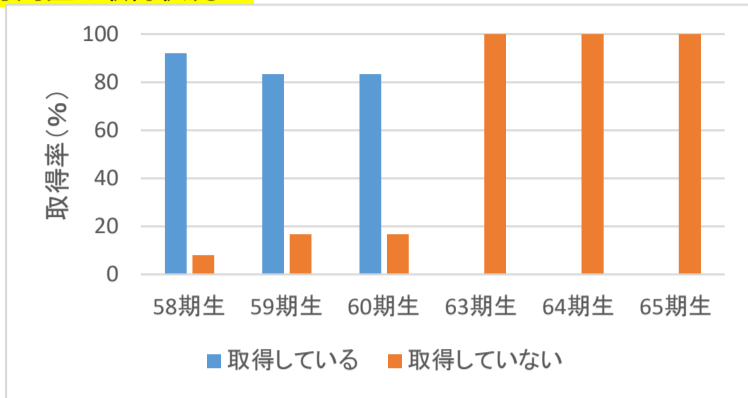


65期生

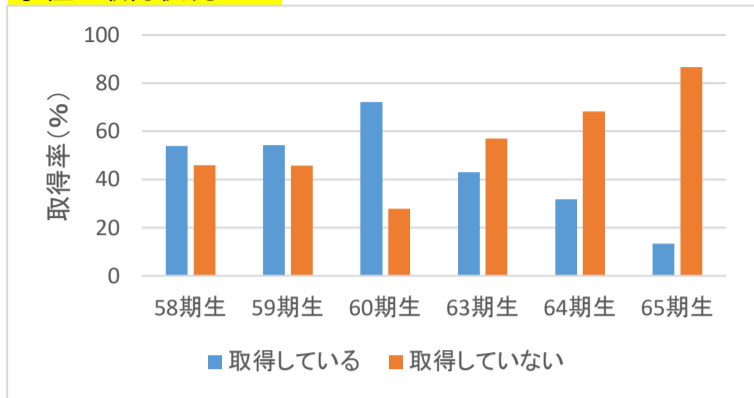


過去3カ年の経年比較 (医学部)

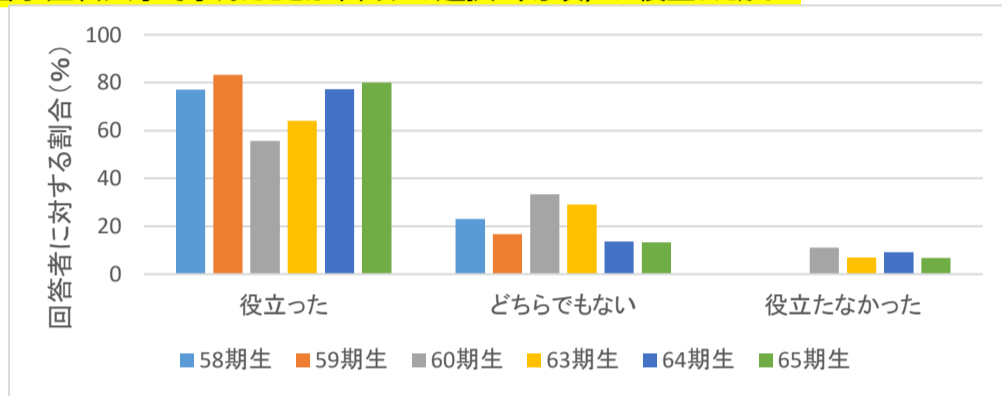
専門医の取得状況



学位の取得状況



岩手医科大学で学んだことはキャリアの選択 (専攻) に役立ったか。

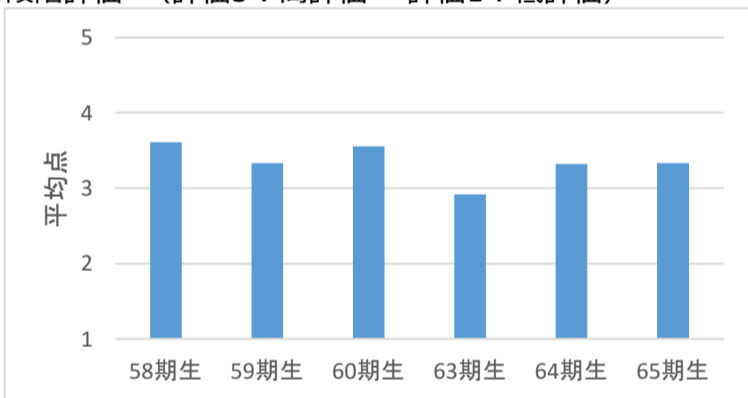


・卒後10年経過すると、専門医の取得率が増加している。一方、学位の取得率も卒後10年で増加しているが、専門医の取得率ほどではない。

・キャリア選択への寄与は、実施時期に寄らず、概ね肯定的な意見が占めている。

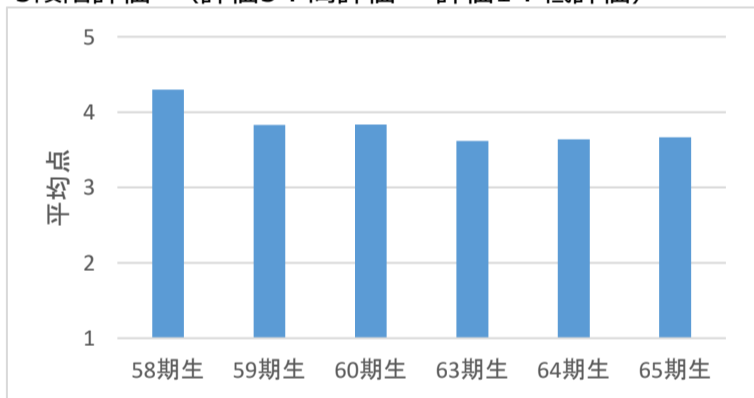
カリキュラムへの満足度

5段階評価 (評価5: 高評価 評価1: 低評価)

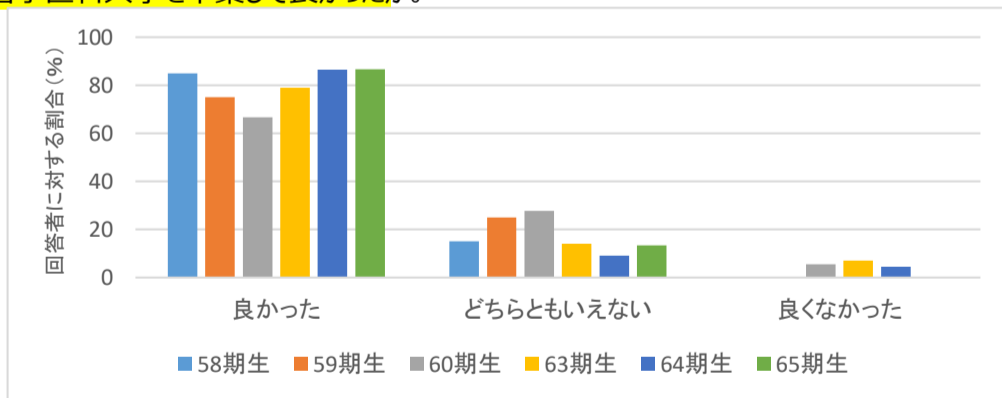


地域医療への貢献度

5段階評価 (評価5: 高評価 評価1: 低評価)



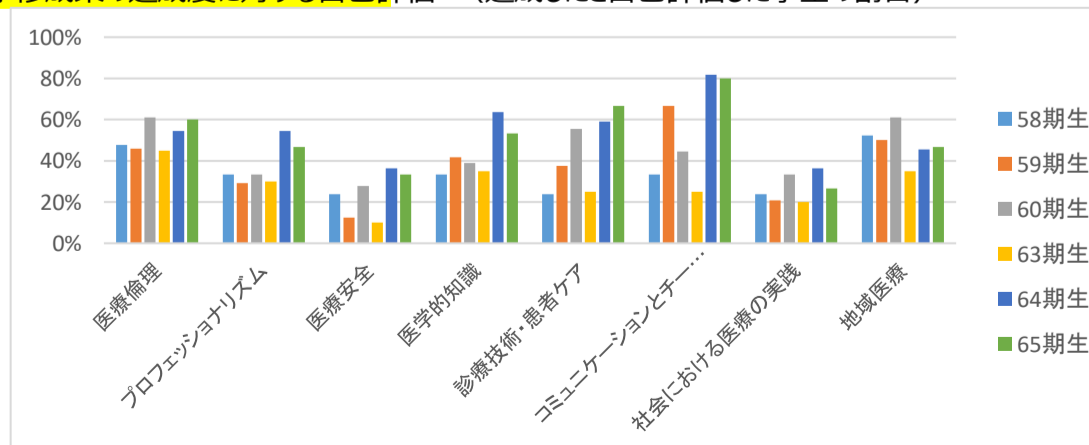
岩手医科大学を卒業して良かったか。



・カリキュラムへの満足度、地域医療への貢献度は、概ね肯定的な評価となっている。(63期生のカリキュラム満足度のみ否定的な評価が多い)

・実施時期に寄らず、岩手医科大学を卒業したことを肯定的に受け止めている卒業生が多い。

学修成果の達成度に対する自己評価 (達成したと自己評価した学生の割合)



・学修成果の達成度について、卒業時期に寄らず、「医療安全」「社会における医療の実践」に対する自己評価が比較的低い。一方、「コミュニケーションとチーム医療」など自己評価が伸びている項目もあり、多職種連携科目の効果が出ていることが期待できる。